

目的別 ウェビナーの種類

with 品川動画スタジオ



目的にあったウェビナータイプの使い分け方

ウェビナー4つの種類



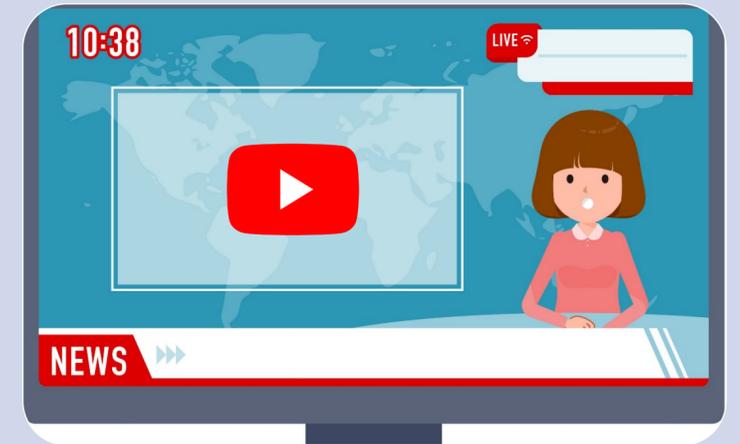
講演型



双方向型



録画型

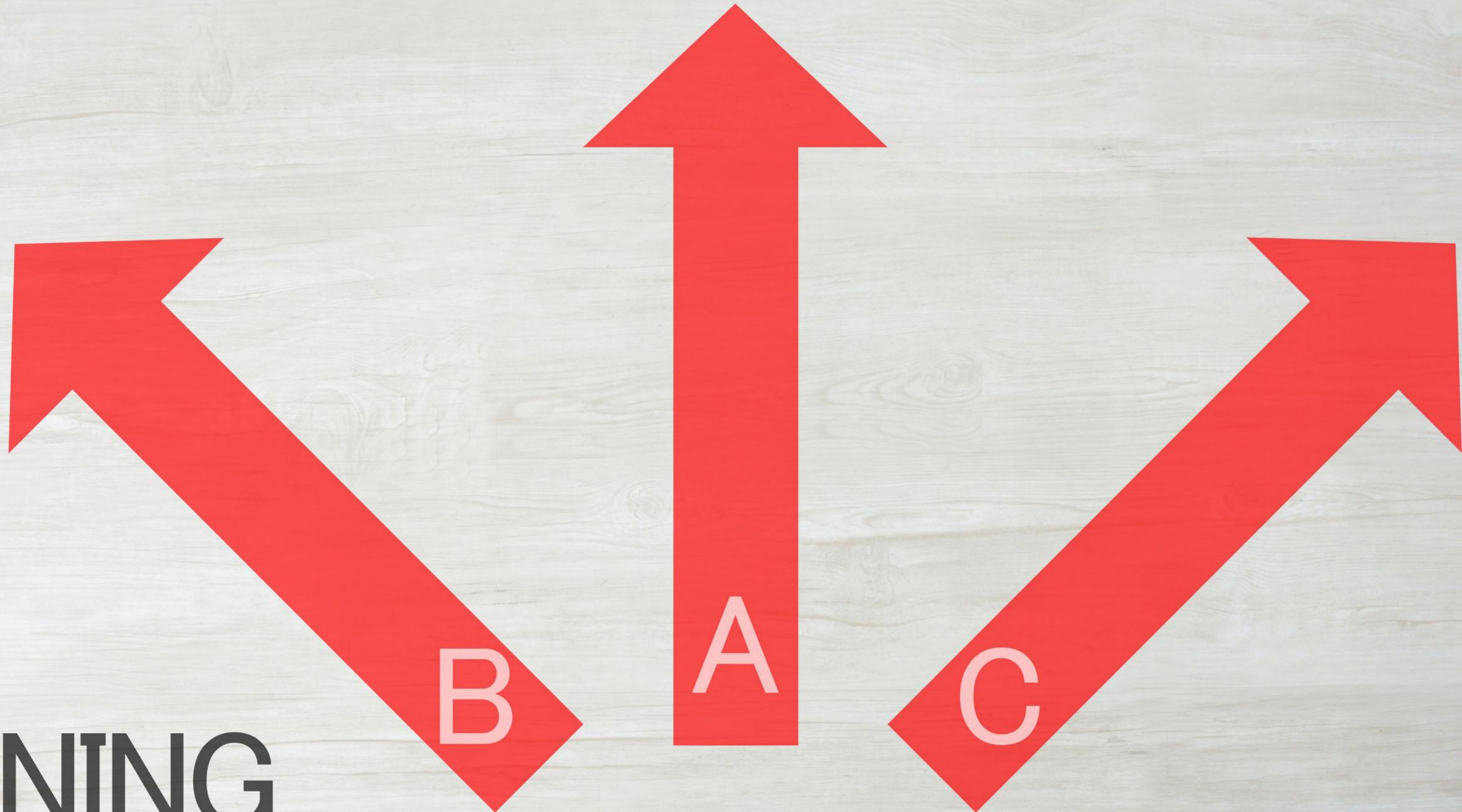


講演
+
録画

これ全部できますか？



目的によってウェビナーのタイプを使い分ける



TURNING

講演型ウェビナー

スタジオで講師が講演し
視聴者はオンラインで視聴する
(YouTube)

代表的なプラットフォーム

YouTube

- オフィシャル感がある
- 有料セミナー不可
- 公開/限定公開/非公開の設定ができる
- YouTubeが宣伝してくれ、広く多くの人に見てもらえる
- 誰もが知っているので視聴者も使い慣れている

Vimeo

- オフィシャル感がある
- 有料セミナーOK
- パスワード設定など、詳細なセキュリティが掛けられる
- 画質が良い
- ライブ配信サーバーはYouTubeより劣る・・・かも (現在は)

Facebook

特徴

- 生放送番組 (リアルタイム配信)
- 一方通行 (チャット)
- 公式感がある
- 講演やプレゼンに向く

運営側のやることが少ない

- チャット確認
- スライド送り
- なので... 講師1人だけでも開催できる

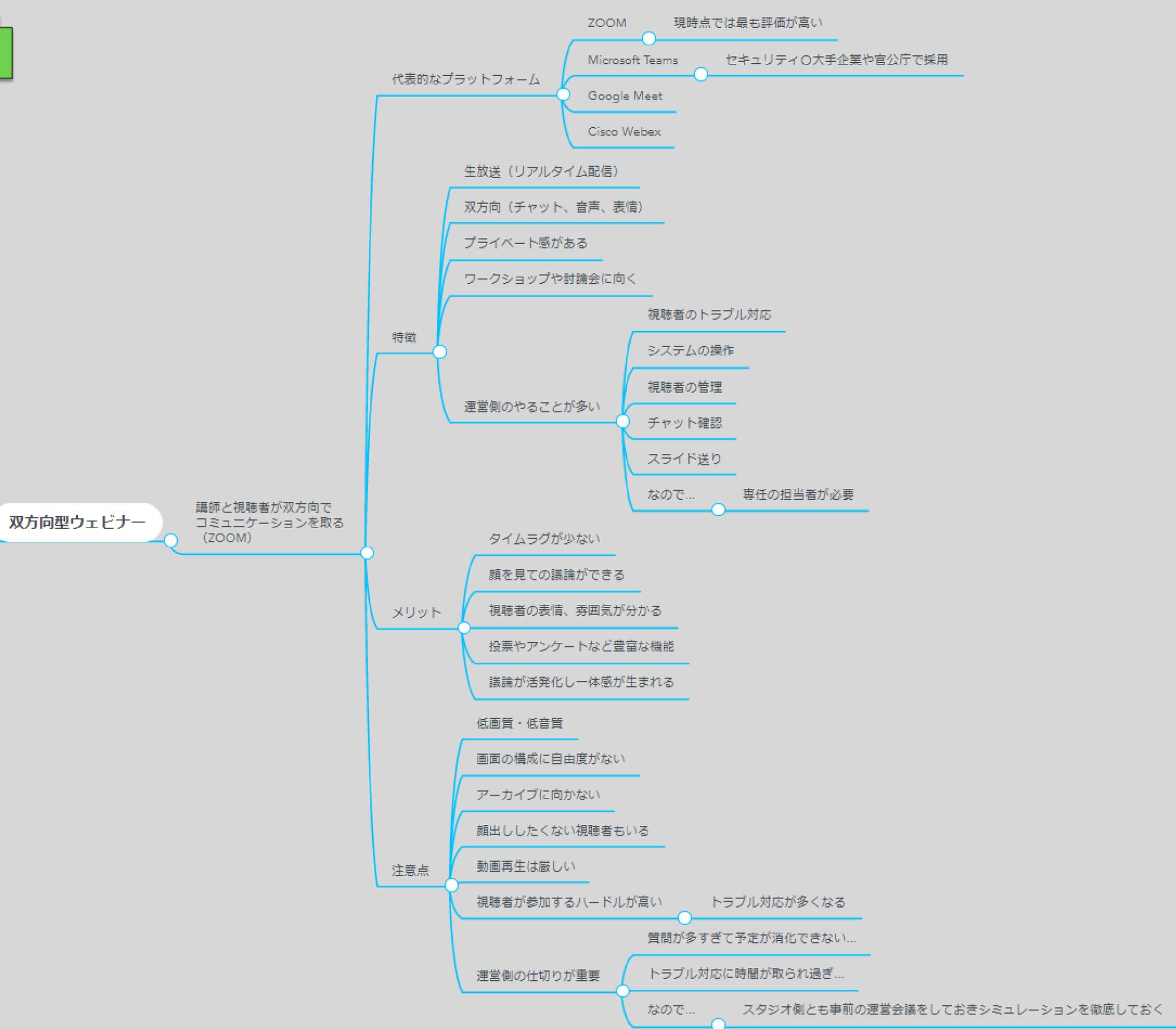
メリット

- 高画質・高音質
- 伝えたいことをしっかり伝えられる
- 自由な画面構成ができる
- アーカイブに向く
- 視聴者の参加負担が少ない
- トラブルが少ない

注意点

- しっかり資料や内容を作り込む
- 事前の準備、練習が重要
 - 進行表の作成
 - 事前リハーサル
 - 読み上げの練習
 - スタジオとの連携
- カメラに向かって話すことの慣れ 【コツ】 顔き係に来てもらう

STEP 2 双方向型ウェビナー



STEP
3

録画型ウェビナー

録画型ウェビナー

事前に収録した動画を
期間を決めて配信する

代表的なプラットフォーム

YouTube

Vimeo

社内サーバー

収録番組（オンデマンド動画）

特徴

一方通行

公式感がある

当日やることは事前にアップした動画を公開するだけ

高画質・高音質

自由な画面構成ができる

アーカイブ

一度収録してしまえば何度でも使える

伝えたいことをしっかり伝えられる

メリット

撮り直しが可能

視聴者の負担感はない

いつでも、どこでも見る事ができる

視聴者の通信環境に左右されない

トラブル対応がない

運営側の負担が少ない

収録当日までに全ての準備を整えておく

何度も撮り直してツギハギすると不自然（作りもの感）

【コツ】一発撮りで収録する

後で編集することを前提に撮影すると編集費がかかる

【コツ】事前に全ての準備を整えて一発撮りで収録する

注意点

プレミアム公開、公開、限定公開

YouTubeの設定をしっかり把握して設定しておく必要がある

動画のタイトル、説明文、タグ、ハッシュタグ、再生リスト

動画を閉じるときは手動（非公開設定）

講演＋録画複合型ウェビナー

生放送（リアルタイム配信）の途中で
事前に収録していた動画を再生する

代表的なプラットフォーム

YouTube

オフィシャル感がある

有料セミナー不可

公開/限定公開/非公開の設定ができる

YouTubeが宣伝してくれ、広く多くの人に見てもらえる

誰もが知っているので視聴者も使い慣れている

Vimeo

オフィシャル感がある

有料セミナーOK

パスワード設定など、詳細なセキュリティが掛けられる

画質が良い

ライブ配信サーバーはYouTubeより劣る・・・かも（現在は）

Facebook

用途

講師が遠隔の場合

配信当日の都合が合わない講師がいる

収録動画や映画を見てもらってから議論したい

特徴

生放送（リアルタイム配信）＋VTR

一方通行

公式感がある（ビッグイベント感）

当日のウェビナー＋事前の収録が必要

運営側・講師側もやるのが少ない

メリット

高画質・高音質

自由が画面構成ができる

伝えたいことを正確にしっかり伝えられる

遠隔の講師がリアルタイムに参加する必要がない

視聴者の参加負担が少ない

注意点

事前の動画再生テストは必須

長時間の動画再生では配信機材に負担

アーカイブは注意が必要

品川動画スタジオは全て対応OK



講演型



双方向型



録画型



講演
+
録画

ウェビナーの相談なら品川動画スタジオへ

<https://shinagawa-douga-studio.com/>

東京都港区港南1丁目6-38 イズミヤビル3階

TEL : 050-5539-2004

